

財務省第4入札等監視委員会 令和4年度第3回定例会議事概要

開催日及び場所	令和5年4月11日(火) 関東財務局 18階大会議室		
委員	委員長 末松 栄一郎(埼玉大学大学院人文社会科学研究科 教授) 委員 大澤 一司(アーク法律事務所 弁護士) 委員 小山 彰(小山公認会計士事務所 公認会計士)		
審議対象期間	令和4年10月1日(土) ~ 令和4年12月31日(土)		
抽出案件	4件	(契約の概要)	(備考)
競争入札 (公共工事)	1件	契約件名 : (22)上高田住宅ほか22住宅石綿含有仕上塗材等調査業務 契約相手方 : 株式会社環境公害センター (法人番号 7180001016368) 契約金額 : 3,465,000円 契約締結日 : 令和4年12月12日 担当部局 : 関東財務局	【案件1】
競争入札 (物品役務等)	1件	契約件名 : 長岡地方合同庁舎除雪等業務 契約相手方 : 株式会社北澤工業 (法人番号 8110001022388) 契約金額 : @16,500円ほか 契約締結日 : 令和4年10月13日 担当部局 : 関東信越国税局	【案件2】
随意契約 (物品役務等)	2件	契約件名 : 立川地方合同庁舎で使用する電気 契約相手方 : 東京電力パワーグリッド株式会社 (法人番号 3010001166927) 契約金額 : 基本料金2,057.00円/kw月 従量料金(その他季)18.67円/kwh ほか 契約締結日 : 令和4年12月1日 担当部局 : 関東財務局	【案件3】
		契約件名 : 大宮税務署及び越谷税務署草加宿舍高濃度PCB廃棄物処理業務 契約相手方 : 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 北海道PCB処理事業所 (法人番号 2010401053420) 契約金額 : 65,547,944円 契約締結日 : 令和4年11月10日 担当部局 : 関東信越国税局	【案件4】
うち応札(応募) 業者数1者関連	1件	長岡地方合同庁舎除雪等業務	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	以下のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

委員からの意見・質問	回答
<p>【案件1】  (22)上高田住宅ほか22住宅石綿含有仕上塗材等調査業務</p> <p>落札率が極めて低い。予定価格の算出に問題はなかったか。また、この金額で本件業務の履行に問題はないか。</p> <p>契約相手方以外の入札価格も低いことについてどう考えるか。</p> <p>契約相手方の所在地と業務履行場所が離れている。本件業務の履行に支障はなかったか。</p> <p>これだけ多くの住宅を1つにまとめて契約している理由を教えてください。</p> <p>今回会議の契約一覧表に「(R4)東久留米住宅アスベスト分析調査業務」がある。この業務が別契約になっている理由を教えてください。業務内容が違うのか。</p>	<p>予定価格算出にあたっては、これまでに取引実績のある業者から見積りを徴しており問題はないものと判断している。</p> <p>本件入札は、業者への声掛けなど応札者を増やすための特段の対応を実施しない中で8者の応札があったものであり、石綿含有調査業務は業者間の競争が厳しい分野であると考えられる。また、契約相手方にヒアリングしたところ、同社は、石綿検体の採取、分析調査、報告書作成に至るまで社内で完結できるため他社より価格競争力を有しているとのことであった。こうしたことが低い落札率に繋がったと考えている。</p> <p>業務履行については、3月24日に検査が完了している。業務報告書は問題なかった。</p> <p>予定価格については、今回の結果を踏まえて検討することになると思うものの、予定価格は実勢価格を反映させることになっているので、適正な予定価格を明確な根拠なく減額しているとの批判を招かないよう慎重に対応していく必要があると考える。</p> <p>契約相手方に確認したところ、本件業務の主要な部分は分析調査で、現地での検体採取が本件業務に占める割合は少ないとのことであり、業務履行上の支障はなかった。</p> <p>複数の住宅をまとめて大きな契約にすることで規模の利益が働くことによる歳出の抑制を期待したためである。また、入札や契約に携わる職員の事務負担軽減も期待した。</p> <p>本件業務は、今後も使用する予定である宿舎について、外壁改修工事等を行うために外壁の塗材から検体を採取し、アスベストの分析調査を行うものである。一方で(R4)東久留米住宅アスベスト分析調査業務は、国家公務員宿舎としての用途を廃止した宿舎について、財産引継ぎに必要な資料作成のため、室内の天井や床等の様々な建材から検体を採取し、アスベストの分析調査を行うものであって、本件業務とは、検体の採取箇所、検体の種類等に相違があり、仕様の内容が異なるため別契約としている。</p>
<p>【案件2】  長岡地方合同庁舎除雪等業務</p> <p>一者応札となった理由をどのように考えているか。</p> <p>今後応札者を増やすための改善策はあるか。</p> <p>前年度の契約相手方を教えてください。</p> <p>近隣の他税務署は、どのように除雪を実施しているか。</p>	<p>本件業務は、昨年度までは随意契約により実施してきたところ、燃料費高騰等の理由により予定価格が100万円を超えることとなったため入札を実施した。入札にあたっては、長岡市や近隣の税務署から除雪業務を行っている業者の情報を入手し9者程度の声掛けを実施したものの、既に他の地方公共団体と契約を締結しているなどの理由で入札参加には至らなかったと考えている。</p> <p>調達時期を早めることや、公告期間を長く確保すること、また、声を掛ける業者を更に増やすことなどにより一者応札を解消できるよう努めたいと考えている。</p> <p>今年度の契約相手方と同じ者である。</p> <p>近隣にある小千谷税務署は、地元業者と契約し除雪が実施されている。</p>

委員からの意見・質問	回答
<p>【案件3】</p> <p>立川地方合同庁舎で使用する電気</p> <p>本件業務は令和4年12月から開始している。前回契約が同年11月で終了した理由は。</p> <p>本件入札には応札者がなかった。入札可能な者はどの程度いると見込んでいたのか。</p> <p>応札者がなく、随意契約に応じる者もなかった理由をどのように考えているか。</p> <p>令和4年12月より前の契約相手方を教えて欲しい。電力価格が高騰する前は、問題なく契約できていたのか。</p> <p>最終保障契約約款により電力供給を受けざるを得ない状況になることは予測できなかったのか。また、今後の改善策はあるか。</p> <p>過去の入札参加者の推移を教えてください。</p> <p>本件業務については、入札の仕組みに問題はなく、世界情勢が不透明になったため応札者がなかったという分析は理解できるものの、過去の入札が1者応札であった点を考えると、入札参加者を増やす工夫は検討すべきである。</p>	<p>立川地方合同庁舎の完成が平成25年11月であるため、庁舎完成以降、12月1日から11月30日を1サイクルとして契約を締結してきた。</p> <p>具体的な数は把握していないものの、登録小売電気事業者であれば入札参加は可能である。</p> <p>一般に「新電力」と呼ばれる小売電気事業者を確認した結果、複数の事業者から、自らは発電していないため電気を調達して供給する必要があるところ、調達価格が上昇している中で将来の価格を設定して入札することは困難であり、損失が発生する可能性もあることから入札参加は見合わせたいとの声があった。こうしたことが、応札者がなく、随意契約に応じる者もなかった理由と考えている。</p> <p>令和3年12月から令和4年11月までは、大和ハウス工業株式会社と契約しており、その前（令和2年12月から令和3年11月）は、東京電力エナジーパートナー株式会社と契約していた。庁舎完成以降、電気の契約は問題なく締結できていた。</p> <p>ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症後の経済復興などの世界情勢が影響した結果であることから予測できず、また手を打てる状況にもなかつたと考えられる。</p> <p>今後は、仕様書を見直すほか、小売電気事業者への声掛けを実施することも必要と考える。また、スケジュールに余裕を持って入札を実施することも考えられる。</p> <p>令和3年度に実施した入札は1者、令和2年度は3者、令和元年度は1者である。</p> <p>承知した。</p>
<p>【案件4】</p> <p>大宮税務署及び越谷税務署草加宿舎高濃度PCB廃棄物処理業務</p> <p>高濃度PCB廃棄物を処理できる業者は、国内で本件契約相手方しかいないのか。</p> <p>今後、同様の業務を委託することはしないのか。</p> <p>予定価格はどのように算出したのか。</p>	<p>国内では、政府の100%出資法人である本件契約相手方のみが高濃度PCB廃棄物を処理することが可能である。</p> <p>関東信越国税局において保有している高濃度PCB廃棄物は現在ないため、今後、処理業務を委託することはない。</p> <p>契約相手方が公表している単価に基づいて算出した。</p>